

平成27年度 宇部市芸術祭
第9回 山口県総合芸術文化祭協賛事業

第17回

宇部市民オーケストラ

クラシックの午後

指揮
高橋 敦

2015年

9月6日(日) 開場／13:00 開演／14:00

宇部市渡辺翁記念会館

●主催

宇部市・宇部文化連盟

●主管

宇部市民オーケストラ

●後援

宇部市民オーケストラ後援会、(財)渡辺翁記念文化協会、
KRY山口放送、tys テレビ山口、yab 山口朝日放送、FM4 エフエム山口、
朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、宇部日報社、FMきらら、宇部好楽協会、
宇部音楽鑑賞協会



◆プログラム◆

ラベル 1. 古風なメヌエット

..... 休 憩

ビゼー 2. 交響曲第1番 ハ長調

フランク 3. 交響曲 二短調

指揮者プロフィール

Atsushi Takahashi



指揮 高橋 敦 (たかはし あつし)

1961年、バイオリン奏者の父、声楽家の母の間に生まれるが、少年時代は野球に没頭する。やがて、モーリス・ジヤンドロンのチェロの音色に魅せられ、チェロ奏者の叔父・高橋忠男の手ほどきを受ける。その後、馬場省一、堀江泰、千本博愛に師事し、1985年に北西ドイツ音楽アカデミー(デトモルト)に留学。カリーヌ・ゲオルギアン、ダヴィット・ゲリンガス、ヴォルフガング・ベトヒャー各氏

に師事する。1988年にはシュレスビヒ・ホルシュタイン国際音楽祭オーケストラ(ドイツ)に合格し、セルジュ・チェリビダッケ、レナード・バーンスタイン指揮のもとヨーロッパ演奏旅行に参加。その間、両巨匠に多大な影響を受け、チェリビダッケとの交流を機に指揮を始める。帰国後には、チェロ奏者として1990年より開催されているパシフィック・ミュージック・フェスティバル(札幌)に第1回、第2回ともに参加。以降、ソロリサイタルの他、海外に招待され室内楽リサイタルを行う等、室内楽やオーケストラで活動する。また、さだまさしのコンサートツアーに参加するだけでなく、FMラジオ番組のパーソナリティ、TBS系ドラマ「砂の器」の演奏シーンの指揮者、フルート奏者山形由美のヴェネツィア(イタリア)でのCDレコーディングにディレクター兼指揮者として参加する等、その活動は幅広い。1992年に創設されたアマチュアオーケストラ/ジャパン フレンドシップ フィルハーモニックでは、現在に至るまで20年以上にわたり音楽監督兼指揮者として活動を続けている。その一方で、2006年より東京海上日動火災保険株式会社および東京海上グループ各社の社員・OB・OGを中心に構成される東京海上フィルハーモニックオーケストラを指揮し、2008年には同オーケストラの音楽顧問に就任。現在も日本各地のアマチュアオーケストラの指揮、指導に情熱を注いでいる。

13 ラベル作曲

古風なメヌエット

ラベル自身が“後向きの作品”としたこの曲は、作曲家独特の印象派的色彩や、精緻な新古典的要素はまだ影を潜めている。パリ音楽院の学生であった時代にピアノ用に作曲された。ただ、リズムに対する柔軟性、対位的な書法への志向など、「古風」という言葉は決して「古臭い」というものではない。形式的には、最初の主題呈示だけに繰り返しと与えられたメヌエットと、ごく僅かなテンポの変化を指定されたトリオによる3部形式で書かれている。

13 ビゼー作曲

交響曲第1番 八長調

初期の習作であり、当時はオペラ以外の音楽がフランスの音楽界では認められていなかったこともあり、この曲はビゼーの生前には演奏されておらず、20世紀になってワインガルトナーという指揮者によって初演された。

第1楽章 Allegro vivo

八長調のソナタ形式。第1主題は分散和音を基調とした音楽である。ト長調の第2主題はオーボエによって示される。第1主題を用いて提示部を締めくくった後、繰り返してから展開部に入る。展開部はエコーのように聞こえてくるホルンの響きがとても魅力的で、ホ長調で第1主題を示した後、二つの主題を用いながら、転調を繰り返した後、八長調に回帰して再現部となる。再現部では二つの主題が共に主調で示される。第1主題に基づく短いコーダで曲は終わる。

第2楽章 Adagio

イ短調の緩徐楽章。短い序奏の後、オーボエがオペラのアリアのようにゆっくりとしたメロディを歌う。次にヴァイオリンによって新たな主題が示された後、序奏のリズムを基にしたフガートが奏される。やがて、始めの主題が回帰して曲を閉じる。

第3楽章 Scherzo. Allegro vivace

ト長調のスケルツォ楽章。中間部は八長調。主部は分散和音を基にした単純な主題からなる。中間部では、ドローンバスと呼ばれる低音の上に田舎風のメロディが展開し、八音とト音の保続音が用いられたもので、これもまた分散和音を基にした単純な主題からなる。

第4楽章 Allegro vivace

八長調のソナタ形式。ヴァイオリンによる細かな動きの第1主題は木管楽器と対話するように進んでいく。木管楽器による副主題も印象的である。その後、ト長調の第2主題が再びヴァイオリンによって示されるが、これは対照的に優雅なものである。第1主題を用いて提示部は締めくくられ、繰り返される。展開部は二つの主題と副主題を組み合わせたものであり、これらが交錯して最高潮に達した途端、再現部に入る。再現部は主題が全て主調で示されて全曲は締めくくられる。

13 フランク作曲

交響曲二短調

セザール・フランクがその最晩年に書いた唯一の交響曲である。曲は、通例4つの楽章からなる交響曲に対し、舞曲（スケルツォ）に相当する楽章を欠き、3つの楽章からなっていて、いわゆる「循環形式」の構造をとる。

第1楽章 Lento; Allegro ma non troppo

ゆっくりとしたレントの序奏部では、冒頭いきなり全曲を支配する循環動機が低音弦楽器のユニゾンで提示される。主部でもこの同じ主題が全弦楽器で力強く奏される。美しく澄んだ副主題を経て、管弦楽による喜びに満ちた第2主題が高らかに奏される。展開部があって、ゆっくりした序奏部がカノン形式により全管弦楽で再現されるところから再現部に入る。

第2楽章 Allegretto

アレグレットの緩徐楽章であるが、中央部のスケルツォを経て、終わりに曲頭部を再帰させる3部形式である。弦楽器のピツィカートとハーブが、イングリッシュホルンによるあたたかで美しい哀感を帯びた旋律へと導く。

第3楽章 Finale: Allegro non troppo

弦楽器の激しいリズムに乗って、管打楽器鳴り、チェロとファゴットが主題を提示する。管弦楽が力を増し、音楽が頂上に達したのち、前の二つの楽章に登場した主題が次々に再帰する。最後は終楽章の主題が輝かしく鳴り響いて曲を終わる。

宇部市民オーケストラ

役員・運営委員

団 長：上野明弘
副 団 長：濱野妙子
名誉指揮者：十川真弓
コンサートミストリス：安永 恵
インスペクター：上野明弘
マネージャー：向山尚志
ステージマネージャー：山本 忍

事務局：清水治子
監 事：末永俊彦
楽 器：吉本宗明
楽 譜：佐貫政彰、大村康一郎
会 計：青木浩明、徳沢紗也佳
中村香織、原田典子
厚 生：青木浩明
広 報：吉本宗明

団 員

◎印コンサートマスター ○印パートリーダー

ヴァイオリン ◎安永 恵 ○清水治子 池田芳江 河内山愛子 佐貫政彰 辻 弓弦
長岡 祥 永本晴美 縄田美言 長谷部 透 松井顕子 松野和江
三宅垂矢子 村上正俊 柳井祥子 山口尚子(客演)

ヴィオラ ○濱野妙子 浅海菜月 上野明弘 押部奈美子 徳沢紗也佳 長谷部素子
吉本宗明 飯田幸生(客演) 石森桂子(客演)

チェロ ○藤野 緑 栗林宏明 黒川明德 佐伯真理子 濱村和幸 原田圭子
山本佐織

コントラバス ○鈴川博之 弘中章司 八木政治 藤野 隆 久保田 尚(客演)
武富祐子(客演) 中村綾香(客演)

フルート ○鈴木まさ子 高橋聖子 戸田紘平 藤本奏子 村田恭子

オーボエ ○宗國敦子 青木浩明 中村香織

クラリネット ○大村真奈美 伊藤しおり 向山尚志 前原隆志(客演)

ファゴット ○小林太郎 伊藤浩太 宮下英晃

トランペット ○藤井淳子 東川 剛 藤井晶宏 清水純一(客演)

ホルン ○澤本貴裕 奥原和彦 片岡 睦 川島朝子 徳永 輝 福田 誠
藤本弥恵

トロンボーン ○大村康一郎 中村 亮(客演) 原田直郎(客演)

チューバ 奥中淳夫(客演)

パーカッション ○貞國泰子 山元紀世子

ハープ 川口三値子(客演)

トレーナー 植木 章(元新日本フィルハーモニー交響楽団クラリネット奏者)
原田大志(元札幌交響楽団コンサートマスター)

◆賛助会員◆

池田譲二・伊藤千恵子・枝広美和・おさき歯科医院・金丸吉隆・佐藤秀樹・重松昭彦・篠崎圭二・住友生命保険相互会社・高村正信・田中典子・土岡慎也・なおりふじおクリニック・中島医院・永谷政一・中村内科・西崎恒子・林一枝・福田信二・みさき薬局山口寿美子・みずほ証券株式会社宇部支店・明治安田生命保険相互会社 山口支店 宇部新川営業所・師井庸夫・柳田英治・脇和也・わだ泌尿器科クリニック・神吉ゆかり・松田昌子・清水芳幸・中澤晶子・名和田敏子・ビューティマリネロ・森本浩・山原憲子・枝廣可奈子・笠松謙二・近藤実葉・酒田三男・佐藤クリニック・トモエ薬局・光井一彦・在田淳一郎・在田和子・有田千代子・兼安英乗・国重一彦・久保田隆昌・末富一臣・田中忠義・田中文代・千葉泰久・西村公一・福本嘉代美・山口アボロガスタ野仁三郎・吉本賢良・上田肇・宇部木材(株)・永谷忠・名和田洋二・藤田敏彦(富士商(株))・吉永外科医院・大谷将治・大塚守義・共立工業株式会社二木敏夫・西京銀行 宇部支店・末富秀史・末永俊彦・第一歯科診療所・藤川三郎・宇部マテリアルズ(株)・川戸範雄・佐藤育男・佐藤節子・高井仁・中島美代子・松岡整形外科・安楽晴義・末山哲英・山切睦彦・(有)きわなみ薬局・三隅洋子・宇部蒲鉾(株)・高田千弘・花田正子・山本礼子・森重整形外科・(有)おおの・羽佐間温子・フジイ内科医院・浅山眼科・加藤紘・湊典子・森田純一・中島淳子・白石千代・東谷和夫・(有)やまさき美容室・鈴木紘子・福田進太郎・安部研一・黒川康弘・米本久子・正下文子・田中聖児・平田淳・柳井秀雄・瀬戸信夫・のむら大腸肛門クリニック・よくくに・島袋智之・竹藤二郎・黒田和幸・吉井純起・東良輝・御馬舎裕子・山田洋子・守田孝恵・柳上俊英